

副研究科長ご挨拶



研究を楽しもう！

栗井 和夫
副研究科長（教育担当）

この度、医歯薬保健学研究科 副研究科長（教育担当）を拝命いたしました。私は、研究科の仕事は初めてですが、大段研究科長を支えて研究科を盛り立てていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

さて、アップルコンピュータの開発者の1人であるスティーブ・ウォズニアックは、「イノベーションは、もっと知りたい、もっと良くしたいという情熱がなければ起こらない」と言っています。一方、広島大学には、「学問は最高の遊びである」というキャッチフレーズがあります。今から、大学院に進学される方々には、是非、自分の研究を楽しみ、自分の研究領域をもっと知りたい、もっと良くしたいとの情熱を持って研究に取り組んでいただきたいと思います。



持続可能な発展を目指して

岡村 仁
副研究科長（企画担当）

この度、医歯薬保健学研究科 副研究科長（企画担当）を拝命いたしました岡村 仁です。

広島大学は、平成29年4月に新長期ビジョン「SPLENDOR PLAN 2017」を策定・公表しました。その中で謳われている、「新しい平和科学の理念『持続可能な発展を導く科学』を確立し、100年後にも世界で光り輝く大学としての責務を果たす」ために、医歯薬保健学研究科の特色を活かした企画を皆さまとともに立案し、実行していきたいと考えています。

大段研究科長のもと、微力ではありますが、研究科の発展のために尽力して参る所存ですので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



さらなる研究力強化の推進

田原 栄俊
副研究科長（研究担当）

この度、医歯薬保健学研究科 副研究科長（研究担当）を拝命いたしました。

本学が進める「研究大学強化促進事業」とともに、本学の強みの世界的研究拠点の強化、さらに広島大学の研究者が持つ強みを新たに創出し継続的に発展させてグローバルな研究拠点形成となることが重要です。継続的な研究強化には若手研究者の育成と本学での次を担う人材の確保が重要と考えます。個人レベルでの研究費の継続的獲得と共に、組織での大型研究費を獲得できる組織作りも重要だと考えます。研究科構成員の皆様のご協力のもと、研究科組織が一体となって、世界に発信できる研究を推進できるように精一杯努めさせて頂く所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。



研究大学強化促進のための国際化

吉子 裕二
副研究科長（国際担当）

この度、副研究科長（国際担当）を拝命いたしました。研究教育環境が刻々と変化する中、研究においてもファシリティマネジメントに基づく効率化・最適化が求められる時代です。研究の打率は1割でも大成功と言われる中、私たちはこの矛盾した世界で戦わなければなりません。微力ではありますが、大学間協定に基づく日本人学生派遣・外国人留学生の受け入れ、外国語授業等、国際化関連を中心とした霞キャンパスにおける先生方の取り組みをご支援させていただきたいと思っております。研究科での活動を通して歯学部の研究力強化、ひいては医歯薬保健学研究科の発展に寄与できるよう努力いたします。研究科の皆様のお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。